

2023 年度 第 9 回理事会議事録

2023 年 12 月 14 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 宇田英幸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27 名
本日の出席理事数	22 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	0 名

■出席役員：会長）宇田英幸、副会長）茂木有希子 理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、高橋啓吾、高橋暢介、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、平田樹伸、原裕如、藤田真弓、丸達也、渡部慶和

■委任役員：伊藤伸、小池祐土、鈴木康子、田坂翔太、吉田朋子、分須 陽

■欠席役員：監事）土屋美樹、中間浩一

■他出席：法人管理部）駒崎かんな 敬称略

■他欠席：なし

■議 題：

1. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2023 年度 第 8 回 理事会議事録について【法人管理部：駒崎】（資料 1）

内容を確認し、満場一致で可決された。

第 2 号議案 埼玉県作業療法学会における講師謝礼について【埼玉学会：種沢】（資料 2）

第 33 回埼玉県作業療法学会において、埼玉医科大学総合医療センターの教授（医師）2 名の方へ基調講演の講師依頼をしたい。儀賀 理暁氏、大林 茂氏、ともに全国的に活躍をされている方のため、特別基準として 1 名につき 1 時間 25,000 円の講師謝金を支払いしたい。

講師謝礼 25,000 円と交通費を支払いすることで、満場一致で可決された。

第 3 号議案 第 33 回埼玉県作業療法学会ポスターについて【埼玉学会：種沢】（資料 3）

第 33 回埼玉県作業療法学会ポスターの内容を確認。座談会の表記を再検討いただくこと、名義後援を追記、申込方法に二次元コード以外の方法についても記載。そして参加者の資格と参加費などを再考いただき、メール審議とする。完成後は定期便、県士会 HP、学会 HP、各 BAND にて案内予定。

第 4 号議案 2/22 開催の語ら Night! 県リハとの共催について【南部ブロック：犬塚】（資料 4）第 1 号議案

2023 年 2 月 22 日に南部ブロックで語ら Night を開催予定。会場は埼玉県総合リハビリテーションセンターを使用予定。使用料がかかるが、県リハ共催とすることで使用料が無料となる。共催の方向で進めてよいか。

今回は県リハと共催とすることで、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部署活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

11月25日（土）第3回協会長・都道府県士会長会議（よんぱち）オンライン会議に、宇田会長、伊藤副会長、大橋事務局長が参加した。

12月6日（水）リハビリテーション議連総会に、茂木副会長が参加した。

- 2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

2024年度定期総会に向けて、各部署長へ1月理事会にて、2024年度事業計画の報告依頼があった。

- 3) 総務部：丸理事より報告事項なし。

- 4) 財務部：北村財務部長より報告事項なし。

- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

研修：第2回研修会の内容が決まった。日時：2024年2月16日（金）19:00～21:00（オンライン）。テーマを「作業療法士が関わる食事」とし、今回の研修会では、摂食・嚥下の基礎知識、口腔機能の評価、食具等の環境調整など、作業療法士が関わる食事について、多くの視点から理解を深められる研修会を目指すこととなった。対象は分野や領域を問わず作業療法士。

第3回研修会（計画中） 日程：2024年3月30日（土）9:00-15:00、会場：リハビリテーション天草病院、定員：50名（対面）。テーマ：脳卒中片麻痺者に対する上肢機能とADL介入、内容：脳卒中リハビリテーションについて、対象者の捉え方、治療技術を学ぶ。講師：山本伸一先生（日本作業療法士協会 会長）

福利厚生検討：運用方法の内容を検討中。

編集委員会：特に報告無し

- 6) 学会支援委員会：小池理事欠席であるが以下の報告があった。

演題募集中：現在1件。

- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

11月18日、日本作業療法士協会生涯教育制度推進担当者会議に鈴木が参加した。

2025年度に変更される生涯教育制度の概要を報告した。

また研修会終了後、ポイント申請は速やかにお問い合わせ増えています。

- 8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。

12月19日 現職者共通研修「作業療法の可能性」、1月22日 現職者共通研修「日本と世界の作業療法」、2月2日 現職者共通研修「作業療法研究法」開催予定。

- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。

問題なく講習会終了。来年度の講習会の日程を調整予定。

- 10) 職能開発事業部：藤田真弓理事より以下の報告があった。

12月15日に教育部、生涯教育委員会、職能開発事業部と合同会議を開催し、来年度の研修会について検討を開始する。

- 11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。
＜現職作業療法士に対する組織率向上対策＞
新人・未入会者の促進に繋がるようなHPのページ作成中。
＜広報誌「彩り」＞
広報部サポーターと協業して2024年1月号を来月の理事会審議に向け作成中。西部ブロックの特集。
- 12) 地域リハ推進部：館岡理事より以下の報告があった。
次年度リハビリテーションフェスタの開催に向けて3士会で検討中。開催場所は川口、時期は11月第3週～土日で検討している。
- 13) 地域包括ケア推進部：平田理事より以下の報告があった。
11月17日ナイトセミナーを開催した。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事欠席であるが、以下の報告があった。
12月16日若年のつどい越谷予定。1月20日協会主催認知症関連情報交換会2名参加予定
12月19日認知症専門研修②開催、3月認知症ご本人・家族への支援についての研修開催予定。
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。
国際医療技術財団（JIMTEF）より「第3回JIMTEF 災害医療研修スキルアップコース（東京会場）」の案内があり、部局内で共有している。
次回埼玉県災害リハビリテーション研修会 advance コースについての打ち合わせ会議を実施した。
- 16) 制度対策部：石川理事より以下の報告があった。
報酬改定関連情報を県士会HPに掲載している。
- 17) 各ブロック
 - ・東部：小池理事欠席であるが、以下の報告があった。
12月12日：リモートで語らNight！「ビブリオトーク」終了。
3月18日：リモートで語らNight！「実習・就職相談」。学生向け企画を開催予定。
 - ・西部：種沢理事より以下の報告があった。
11月17日みんなで語らNight開催。対面で20名参加。
 - ・南部：犬塚理事より、以下の報告があった。
11月21日にブロック座談会を開催した。
2月22日（木）「語らNight！～ドライブシミュレーターを体験しよう～」開催予定。
 - ・北部：分須北部ブロック長より報告事項なし。
1月に開催する語らNightの会議を実施した。
- 18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より以下の報告があった。
2月22日に研修会を開催することとなった。
- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より報告事項なし。
12月17日：基礎研修、12月21日：書き方研修、1月13日：コラボ研修(地域×ここら)、1月18日：コラボ研修(養成教育)開催予定。
- 20) 子ども支援委員会：田坂理事より報告事項なし。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。

- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
- 11月5日、令和5年度さいたま市障害者社会参加推進事業（家族教室）に5名の委員が運営協力をした。当日は、スタッフの含め40名の参加となった。11月28日に第6回研修班ミーティングを開催した。つぎの段階の研修会について検討を開始した。またオンライン交流会に向けて準備を継続して行っています。
- 2024年2月15日（木）19：00～20：30 高次脳機能障害をもつ方々を支援する医療と福祉のオンライン交流会開催予定。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。
- 2023年度 運転と地域移動に関する都道府県士会協力者会議に参加。
- 自動車運転関連のネットワーク、連携については実車評価を介した病院間の共通フォーマットを実施している地域、個々の病院にて独自に対応している地域と様々。埼玉県からは国土交通省のモデル事業を介した取り組みが一部施設と病院間で行われていることを報告。
- 地域での移動についての取り組みは、免許返納後のサービス等市町村の福祉サービス情報の一覧を作成している士会もあるが、広域的な取り組みや市町村連携はあまり行われていない。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事欠席であるが、以下の報告があった。
- 12月1日（金）第13回こころOT室実施。参加者18名（学生1名、当事者2名、企業2名）。
- 25) 第33回埼玉県作業療法学会：小池理事欠席のため、報告事項なし。
- 26) 埼玉県リハビリ専門職協会：渡部理事より報告事項なし。

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

12月7日に行われた、協会の新事業、協会と士会との意見交換会では有意義な情報交換ができました。テーマは職場との連携、養成校との連携でした。議事録が出来ましたら公開いたします。

OTの処遇改善、身分保障のための政治的活動が協会からの具体的な要請もあって本格化しています。職場でもこのテーマについて議論、啓発されるようご協力をお願いいたします。

今年の理事会は本日をもって最後となりました。各位くれぐれもご自愛頂きながら引き続き良い作業療法を提供できるよう、また来年も力を合わせて邁進してまいりましょう。よいお年をお迎えください。

2) 茂木副会長より

12月6日にリハビリテーションを考える議員連盟（第8回総会）に参加した。

166名の国会議員（参議院42名、衆議院124名）が議員連盟に加入している。

リハビリテーション職（PT・OT・ST）それぞれの協会長が国会議員の方々にプレゼンテーションを実施し、処遇改善を訴えた。

III. その他

次回理事会：2023年 1月11日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時20分閉会を宣した。

2023年12月14日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会